工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

1/13ページ

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

211-2 11 12 12	1 11-1-1-1-1					(
考查項目	細 別	a	b	С	d	e
1. 施工体制	I.施工体制一般	□施工体制が優れている。	□施工体制が良好である。	□施工体制が適切である。	□施工体制がやや不適切である。	□ 施工体制が不適切である。
		●評価対象項目 □ 施工体制一般に関して、監督員だ上記該当項目があれば □ 施工体制一般に関して、監督員だ上記該当項目があれば □ ① ① ① 作業の分担の範囲が、下請業をでは、書面に適切についる安全管理体制が、書面に適切についる要全管理体制が、書面に適切についる工事規模に応じた人員、機械をでして、任意、表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	が文書による改善指示を行った。d 皆を含め、書面に明確に記載されている こ記載されている。 こ記載されている。 安全管理を含む)が、書面と一致してい 記置がなされ施工している。 らの趣旨を下請業者等に説明するととも 古果を十分に検査している。 本支店等による十分な支援体制を整え	る。 いる。 らに、証紙の購入が適切に行われ、配布 と実施している。	が受け払い簿等により適切に把握され	ている。
		評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	b			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

2/13ページ

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法]評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

考查項目	細 別	а	b	c	d	е				
1. 施工体制	Ⅲ. 配置技術者 Ⅲ. (現場代理人等)	□配置技術者として優れている。	□配置技術者として良好である。	□配置技術者として良好である。	□ 配置技術者として □ やや不適切である。	□配置技術者として不適切である。				
		●評価対象項目				1				
		□ 配置技術者に関して、監督員かり	らの文書による改善指示に従わなかった	-0						
		上記該当項目があれば	е							
		□配置技術者に関して、監督員が文書による改善指示を行った。								
		上記該当項目があれば								
		☑ □ ①現場代理人として、工事全体の								
		□□②現場代理人として、監督員へのの初めます。記書図書館は四個の								
		☑ □ ③契約書、設計図書等を理解し、☑ □ ④工事請負契約書第18条(条何条何条何条何)		」という。) に基づく設計図書の照査を	を行っている。					
		☑ □ ⑤書類及び資料が適切に整理され			2,0 - 0 - 00					
		☑ □ ⑥作業環境、気象、地質条件等								
		□ □ ⑦工事に必要な専門技術者を選作 □ □ ⑧作業に必要な作業主任者を選作								
		□ □ ⑨主任(監理)技術者として技術的	-							
		□ □ ⑩施工体制、施工状況を把握し、								
		□□⑩施工等に伴う提案又は工夫を								
		□ □ ⑫ 「施工プロセス」チェックリン□ □ ⑬その他 (理由:	ストのうち、配置技術者に関して、改善	季に係る指示事項が無い。)				
		□□□□□での他 (埋田:				,				
		評価値が90%以上			、評価すべき項目の場合にチェックし、評価す					
		評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
		評価値が60%未満・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
		※1. 建築一式工事を施工する場合において、一式工事の内容である他の建設工事(専門工事)を自ら施工する時は、当該専門工事に関し資格を有する者を置くものとする。なお、主任 技術者が当該専門工事の資格を有していれば、専門技術者を兼ねることができる。								
		V 1111 E 11 - 1111 T 1 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	育していれは、専門技術者を兼ねること 作業は、労働安全衛生法施行令第6条κ							
		※ 2. 作業土仕有を選任すべさ1	F未は、カ側女王衛生伝施打市界り余に	- よる。						

契約番号: 0 **工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)** エ 事 名: 0

3/13ページ

「記入方法」評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

考查項目	細 別	a	b	С	d	е						
2. 施工状況	I. 施工管理	□施工管理が優れている。	□施工管理が良好である。	□施工管理が適切である。	□施工管理がやや不適切である。	□施工管理が不適切である。						
		●評価対象項目										
		- 111 11-11 1111	の文書による改善指示に従わなかった。									
		上記該当項目があれば	е									
		□ 施工管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。										
		上記該当項目があれば d										
		□ ①契約書第18条に基づく設計図割2 □ ②施工計画書が、工事着手前(計2 □ ③施工計画書が、設計図書及び到2 □ ④施工計画書に、出来形・日常の記2 □ ⑤施工図作成にあたり、関連工具2 □ ⑥施工図作成にあたり、関連工具2 □ ⑥施工図作成にあたり、関連工具2 □ ⑥施工図作成にあたり、関連工具2 □ ⑥施工制画書の記載内容・確認の製2 □ ⑨・一工程の施工の検査・確認の製2 □ ⑩・現場内での整理整頓が、日常的2 □ ⑩・技術と変が計画的に行われている。 □ ⑪・社内検査が計画的に行われている。 □ ⑪・社内検査が計画が、日本の地の・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	画内容に変更が生じた場合を含む)に 見場条件を反映した内容となっている。 確保のための記載がある。 出来形・品質の管理を適切に行っている 事と遅滞なく、調整が十分に図られてい 整備が、適時に行われている。 を工方法が、一致している。 報告が、適時に行われている。 内に行われている。 内に行われている。 外に行われている。 外に行われている。 対策型の建設機械及び車両を使用してい 重数のリサイクルへの取り組みが、適	その管理が適切である。)							
		評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	b	0 11113 1111	***************************************	- / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

4/13ページ

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

考查項目	細 別	a	b	С	d	e					
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	□工程管理が優れている。	□工程管理が良好である。	□工程管理が適切である。	□工程管理がやや不適切である。	□工程管理が不適切である。					
		●評価対象項目 □ 工程等理に関して、監督員からの本書による社会に合われないよ									
		□ 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 □ 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。									
		上記該当項目があれば e									
		□ 工程管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。									
		上記該当項目があれば・・・・・・・・・・ d									
		□ ①実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。 □ ②現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握している。 □ ③工程のフォローアップを実施し、請負者の責により関連工事及び入居官署等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。 □ ④現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。 □ ⑤工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 □ □ ⑥請負者の責による夜間や休日の作業がない。 □ □ ⑦休日・代休の確保を行っている。 □ □ ⑦休日・代休の確保を行っている。									
		□ □ ⑨「施工プロセス」チェックリン□ □ ⑩その他 (理由:	. , . ,	,, -,, -,, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -,)					
		評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

5/13ページ

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

考查項目	細 別	a	b	С	d	е
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	□安全対策が優れている。	□安全対策が良好である。	□安全対策が適切である。	□安全対策がやや不適切である。	□安全対策が不適切である。
		●評価対象項目 □ 安全対策に関して、監督員からの上記該当項目があれば □ 安全対策に関して、監督員が文章上記該当項目があれば □ 安全対策に関して、監督員が文章上記該当項目があれば □ 安全対策に関して、法令遵守の対上記該当項目があれば □ ②店社パトロールを1回/月放り回、③各種安全パトロールで指摘を受り回、⑤安全巡視、TBM、KY等を受り回、⑥新規人者教育を実施し適時配け回、⑥新規人者教育を実施し適時配け回、⑥面報機操作に際にて、誘導置後の別回、⑥血留め等について、設置管えて、設置を整備を関し回、⑩仮設工事において、設置管えて、設置を整備を関し回、⑪を開機械、工具等の点検整備等の回、即使用機械、工具等の点検整備の回、10億人で表して、設置管元の回、10億人で表して、設置である。10億人で表して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対	書による改善指示を行った。 世置内容に該当する場合。 音を設置し、1回/月以上活動し、記録と実施し、記録が整備されている。 要が変備されている。 要が変に変が変にないを整備されている。 を内容に現場の特性が反映され、記録が変にの特性が反映され、記録が変にの分離措置がが、まくを理がチェックリスト等を用いいでで理がチェックリストででいる。 の設置・管理が適切であり、よく整備さいる。 の設置・管理が適切であり、よく整備さいる。 のおと、なきないのうち、安全対策に関して、改善にいる。 ストのうち、安全対策に関して、改善に	図り、かつ関係者に是正指示している。 「整備されている。 はされている。 いて実施されている。 リスト等を用いて実施されている。 「私ている。 「保る指示事項が無い。		

様式第3号 契約番号: ₀ 工 事 名: 0

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

6/13ページ

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

考查項目	細 別	а	b	С	d	e						
2. 施工状況	IV. 対外関係	□対外関係が優れている。	□ 対外関係が良好である。	□対外関係が適切である。	□対外関係がやや不適切である。	□対外関係が不適切である。						
	 ●評価対象項目 □ 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当項目があれば。e □ 対外関係に関して、監督員が文書による改善指示を行った。 上記該当項目があれば											
		□ ①工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生がない。 □ ②工事施工にあたり、近隣住民(入居官署等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。 □ ③引渡し時に入居官署に対し、保守管理について適切な説明を行っている。 □ ④工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 □ ⑤近隣住民(入居官署等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。 □ ⑥現場のイメージアップに取り組んでいる。 □ □ ⑦対外関係に関して、改善に係る指示事項が無い。 □ □ ⑧その他 (理由:										
		評価値が90%以上 評価値が80%以上90%未満… 評価値が60%以上80%未満 評価値が60%未満	b c	0	***************************************							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

7/13ページ

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

	考查項目	細 別	а	b	С	d	е			
3.	出来形及び出 来ばえ	I. 出来形	□出来形が優れている。	□出来形が良好である。	□出来形が適切である。	□出来形がやや不適切である。	□出来形が不適切である。			
			●評価対象項目 □ 工事請負契約書第17条に基づき 上記該当項目があれば □ 出来形の管理に関して、監督員な 上記該当項目があれば □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	·········e が文書による改善指示を行った。 ········d						
			□ ①承諾図等が、設計図書を満足している。 □ ②施工図等が、設計図書を満足している。 □ ③現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。 □ ④施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。 □ ⑤出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。 □ ⑥ ① ⑥出来形の管理方法を工夫している。 □ ⑥ ① ⑥出来形の管理方法を工夫している。 □ ⑦解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切である。 □ ② ⑧不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。 □ □ ⑨その他							
			評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	b c d		に該当してもC評価とする。	ప .			

式第3号 契約番号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。 (主任監督員)

[記入力法] 記	多当する項目の口に	レマークを記入する。	((土仕監督貝)
考查項目	細 別			
		■準備・後片づけ関係		王仕監督貝)
		□ 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 □ 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 □ その他 (理由: ■品質関係 □ 集計ソフト等の活用と工夫 □ 躯体工事の品質管理の工夫 □ 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 □ 加工の検査・試験に関する工夫 □ 品質記録方法の工夫 □ 品質記録方法の工夫 □ その他 (理由:)	

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] [該当する項目の□に	レマークを記入する。	(主任監督員)
考查項目	細 別		
5. 創意工夫	I. 創意工夫2/2	■安全衛生関係 □安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) □安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 □現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫 □酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 □周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 □改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 □作業時における作業環境改善等の工夫 □ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 □その他 (理由:)	
		■施工管理関係 □ 出来形の管理等に関する工夫 □ 施工計画書または写真記録等に関する工夫 □ 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 □ C A D、施工管理ソフト等の活用 □ C A L S を活用した施工管理の工夫 □ その他 (理由:)	
		■新技術活用 「新技術活用」においては、以下の項目により複数の技術の評価を可能とするが、最大3点の加点とする。 以下の項目の評価にあたっては、活用効果調査表の提出が不要な場合を除き、発注者及び受注者の双方による全ての活用効果調査表を確認した上で評価する。たっかに対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし、発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。 「該当技術教:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が相当程度確認・本項目は2点の加点とする。 「該当技術教:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が一定程度確認・本項目は2点の加点とする。 「(該当技術教:) NETIS登録技術のうち、事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と、※本項目は1点の加点とする。 「(該当技術教:) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。※本項目は2点の加点とする。 「(該当技術教:) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。※本項目は2点の加点とする。 「(該当技術教:) NETIS登録技術のうち、事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。※本項目は1点の加点とする。 「ぐんまの環境新技術等若しくは群馬県建設工事関連新技術等を技術提案、施工承認等で採用し施工した場合 ※本項目は3点の加点とする。	認できた。
		※ここで「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「有用とされる技術」をいう。	

該当技術数に対し各項目の加点点数を掛け合わせたものを評価の点数とするが、この場合も最大3点の加点とする。

評点: 0 点

□ その他 (理由: □ その他

■ その他

(最大7点)

(理由:

詳細評価内容欄

※複数の技術の評価にあたっては、活用した技術数に応じ複数の評価項目を選択することを可能とするが、最大3点の加点とする。複数の技術が同一の評価項目に該当した場合、

※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

※2. 該当する数と重ねを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。 ※3. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。なお、総括監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

※4. 入札時の総合評価の提案に係る項目は評価しない

※5. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

13/13ページ

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。 (主任監督員) 考查項目 細 別 5. 創意工夫 Ⅱ. 週休2日 ■週休2日 □ 対象期間中、週休2日の取組が4週8日以上実施出来た。 ※本項目は2点の加点とする。 □対象期間中、週休2日の取組が4週7休以上4週8日未満実施出来た。 ※本項目は1点の加点とする。 Ⅲ. ICT活用工事 ■ICT活用工事 □ ICT活用(1)~(5)の全面活用を行った。 ※本項目は4点の加点とする。 □ ICT活用(3)の部分活用を行った。 ※本項目は2点の加点とする。 □ ICT活用(1)(2)(4)(5)の部分活用を行った。 ※本項目は2点の加点とする。 詳細評価内容欄

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。 ※主な工種を一つ選択して評価する。

考查項目	細	別	工種	а	b	С	d	e					
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	Í	建築工事	□品質が優れている。	□品質が良好である。	□品質が適切である。	□品質がやや不適切である。	□品質が不適切である。					
				●評価対象項目 □ 工事請負契約書第17条に基づ									
				上記該当項目があれば	е								
				□ 品質の管理に関して、監督員が	文書による改善指示を行った。								
				上記該当項目があれば	上記該当項目があれば d								
				□ □ ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足している。 □ □ ②品質確認記録の内容が、適切である。 □ □ ③施工の各段階における完丁時の品質が適切である。 □ □ ③原本工事における施工の品質が、良好である。 □ □ ⑤内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。 □ □ ⑤不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 □ □ ⑦その他 (理由:)									

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

E 8/13ページ

契約番号: 0 工 事 名:0

「記入方法」評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。 ※主な工種を一つ選択して評価する。

[HD] () (ID] H	1 Im/\(1 \rangle 1 \rangle 1 \rangle 1	7 H 10	<u> </u>	(H M X H (S) L L L L L L L L L L L L L L L L L L L	/ 100 / 11 11 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15	CH IM / 0/8		(工工皿目外)			
考查項目	細	別	工種	a	b	С	d	e			
3. 出来形及び出 3. 来ばえ	Ⅱ. 品質		電気設備工事 受変電設備工 事	□品質が優れている。	□品質が良好である。	□品質が適切である。	□品質がやや不適切である。	□品質が不適切である。			
				●評価対象項目 □ 工事請負契約書第17条に基づ上記該当項目があれば □ 品質の管理に関して、監督員が上記該当項目があれば	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
				□ ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 □ ②施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が、適切である。 □ ③品質確認記録の内容が、適切である。 □ ④システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 □ ⑤機材及び施工の品質が、良好である。 □ □ ⑥不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。							
				評価値が90%以上 評価値が80%以上90%未満… 評価値が60%以上80%未満… 評価値が60%未満… ※1.目的物の品質の水準を割 ※2.品質の対象は、「材料、 り技術的な評価を行う。	b ②c ③d ④ F価すること。	「対象」欄にチェックボックスがある項目は、評値 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を 評価値(%)=()評価数/()対象評 評価対象項目数が2以下の場合は、全てに該 (システムを含む) 」があり、工事目的な	母数として比率(%)計算の値で評価する。 価項目数×100 当してもC評価とする。				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

M 8/13ページ

契約番号: 0 工 事 名:0

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。 ※主な工種を一つ選択して評価する。

考查項目	細	別	工種	a	b	С	d	е			
3. 出来形及び出 3. 来ばえ	Ⅱ. 品質	Ĵ	暖冷房衛生設 備工事 機械設備工事	□品質が優れている。	□品質が良好である。	□ 品質が適切である。	□品質がやや不適切である。	□品質が不適切である。			
				●評価対象項目 □ 工事請負契約書第17条に基づ上記該当項目があれば							
				□ 品質の管理に関して、監督員か	□ 品質の管理に関して、監督員が文書による改善指示を行った。├記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
				□ ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 □ ②品質確認記録の内容が、適切である。 □ ③施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が、適切である。 □ ① ④システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 □ ⑤機材及び施工の品質が、良好である。 □ ⑤ ⑥ 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。							
				□ □⑦その他 (理由:)			
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
				※1.機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。※2.目的物の品質の水準を評価すること。※3.品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。							

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 該当する目の□にレマークを記入する。

考查項目	細別	a	b	С	d	е					
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	□ 工程管理が優れている。	□ 工程管理が良好である。	□ 工程管理が適切である。	□ 工程管理がやや不適切である。	□ 工程管理が不適切である。					
		□②隣接又は同一現場の他工事等 □③近隣住民(入居官署等を含む) □④配置技術者(現場代理人等)(□⑤その他理由(※上記評価対象項目のうち、該:	□①現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 □②隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 □③近隣住民(入居官署等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 □④配置技術者(現場代理人等)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 □⑤その他 理由(※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行う。 詳細評価内容 ※1. 総括監督員は、主任監督員の意見を参考に総括的な評価を行う。								
			かは、総合的な視点で判断し評価する。								
		a	b	С	d	е					
	Ⅲ. 安全対策	□ 安全対策が優れている。	□ 安全対策が良好である。	□ 安全対策が適切である。	□ 安全対策がやや不適切である。	□ 安全対策が不適切である。					
		●評価対象項目 □ ①建設労働災害、公衆災害の防□ ②安全衛生管理体制を確立し、約□ ③安全衛生管理活動が、適切に3□ ④安全管理に関する技術開発や約□ ⑤安全協議会活動に積極的に取□ ⑥その他 理由(※上記評価対象項目のうち、該当項 詳細評価内容)								
		※1. 総括監督員は、監督員の意見を参考に総括的な評価を行う。 ※2. 評価に当たっては評価対象項目のレ点の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。 ※3. レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。									

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 該当する目の口にレマークを記入する。

しいハガム」	該当する目の口にレ	マークを記入する。	(総括監督員)
考查項目	細 別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事項
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応1/2 評価点 0 点	■建物規模への対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 □ 延べ面積10,000㎡以上の建物 □ 地上9階以上又は建物高さ31m以上の建物 □ 大空間のホール等を有する建物 □ その他 (理由)	
	評価点 0 点	■建物固有の機能の難しさへの対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 対象建物の耐震レベル 建物機能の特殊性 その他 (理由)	【評価技術事例】 ・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準において I 類及びA類に属する工事 ・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備の有る建物
	評価点 0 点 💂	■建物固有の施工技術の難しさへの対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 □ 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合【総合評価における技術提案は除く】 □ 設計条件として、工法、材料及び設備システム(機材を含む)の特殊性□ 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合□ その他 (理由)	【評価技術事例】 ・バイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行う工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
	評価点 0 点	■厳しい自然・ 地盤条件への対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 一 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) 一 軟弱地盤、支持地盤の影響 □ 雨・雪・風・気温等の影響 こ その他 (理由)	【評価技術事例】 ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事
	評価点 0 点	■厳しい周辺環境、社会条件との対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば2点の加点とする。 □ 地中埋設物等の作業障害 □ 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 □ 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 □ 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 □ その他 (理由)	【評価技術事例】 ・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事

様式第4号

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

3/6ページ

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 該当する目の□にレマークを記入する。

	<u>халонооне</u>	7 E H17 () ()	(同江血目兵)
考查項目	細 別	対応事項	【事例】具体的な施工条件等への対応事項
4. 工事特性	評価点	■施工現場での対応 ※下記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とし、最大10点とする。 【長期工事における安全確保への対応】 □ 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事(ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 □ 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】 □ 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 □ 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 □ 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 □ 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 □ 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事 □ 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 □ 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 □ 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 □ 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 □ 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 □ こその他(理由:	
	評価	評価点計 <u>評点: 0 点</u> (最大20点)	詳細評価内容欄

- ※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。なお、1項目に複数の内容がある場合又は、対象範囲が広い場合は、それ以上の点数を与えても良い。
- ※2. 監督員が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、監督員の意見も参考に評価する。
- ※4. レ点を付した評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

様式第4号

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

4/6ページ

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 該当する目の□にレマークを記入する。

[111/()/14]	M T Y D T W T ICE Y	/ Chr// 20						
考查項目	細 別	а	a '	b	b '	С		
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	□ 地域への貢献が優れている。	□ 地域への貢献がやや優れている。	□ 地域への貢献が良好である。	□ 地域への貢献がやや良好である。	□ 他の評価に該当しない。		
		●評価対象項目 □①災害時等に地域への救援活動: □②周辺地域の環境保全、生物保: □③現場事務所や作業現場の環境 □④広報活動や現場見学会等を実: □⑤地域イベントへの協力やボラ □⑥その他 理由(※上記評価対象項目のうち、該当項 詳細評価内容 ※1.総括監督員は、監督員の:)					
	Ⅱ.週休2日	 ※2.評価に当たっては評価対象項目のレ点の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。 ※3.地域への貢献とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。 ※4.レ点を付した評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。 ●評価対象項目 対象期間中、週休2日の取組が4週7休以上実施出来た。 ※本項目は2.5点の加点とする。 						

5/6ページ

様式第4号 契約番号: 0 工事名: 0

「記1七州」数単十3日の○17、つ、かも記1十2 われ 対内市間17の1174 □171つ、かも記1十2

[HU/ (// IA)] IV	当する目の〇に・マー	クを記入する。なお、対応事例についても□にレマークを記入する。	(総括監督員)					
考查項目		法令遵守等の該当項目一覧表						
7. 法令遵守等								
(工事事故等に	措置内容							
よる減点)	•	該当項目なし						
	〇 -20点	1. 指名停止3ヶ月以上						
	〇 -15点	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満						
	〇 -13点	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満						
	〇 -10点	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満						
	〇 -8点	5. 文書注意						
	〇 -5点	6. 口頭注意						
	O -3点 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微であり、口頭注意以上の処分がなかった場合 (不問で処分した案件。なお、もらい事故や交通事故は該当しない。)							
	 ① 本考査項目 (7.法令遵守等) で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表1から7の措置があった」場合に適用する。 ② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容 (工事名、工期、施工場所等) を履行することに限定する。 ③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。 ④ 口頭注意未満の処分を受けた後、事故及び災害等において安全対策の改善が見られない場合(監督員から文書注意、口頭注意等) は、総括監督員の評価対象項目である安全対策において減点をする。 ⑤ 原則として、法令遵守等の該当項目一覧表によることとするが、やむを得ずこれによれないときは、各機関で定めることができる。 							
	【上記で評価する場合の適応事例】 □ 1. 入札前に提出した調査資料等が虚為であった事実が判明した。 □ 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 □ 3. 労働者の寄宿舎環境等について労働基準法上違反があり、送検等された。 □ 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 □ 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 □ 6. 建設業法に違反する事実が判明した 例)一括下請負、技術者の専任違反等 □ 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 □ 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。							
	 □ 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 □ 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 □ 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 □ 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 □ 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 □ 14. 受注企業及び下請け等が暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報を怠った。 □ 15. 安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 □ 16. 引渡し後に事故等が発生し、請負者の責による重大な瑕疵が判明した。 □ 17. 低入コスト調査で虚偽の報告があった。 							
	□ 11. 過積載等の □ 12. 受注企業の □ 13. 下請けに暴 自動販売機 □ 14. 受注企業及 □ 15. 安全管理の □ 16. 引渡し後に □ 17. 低入コスト	が道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 対社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 対力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業の設置等を行っている事実が判明した。 び下請け等が暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報を怠った。 が指置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 事故等が発生し、請負者の責による重大な瑕疵が判明した。	業員用の					

様式第4号

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

6/6ページ

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 該当する目の□にレマークを記入する。 (総括監督員)

考查項目		総合評価		
7. 法令遵守等	総合評価の履行確認について			
(総合評価に よる減点)	✓ 対象外□ 履行□ 不履行			
	下請計画等の不履行		点数	
	□ 評価された記載内容どおりの履	夏行がされなかった。	- 8点	
	□ 設定計画どおり下請契約が履行	すされた。		
	"下請計画の不履行"で該当する事例は、 た」場合に適用する。	「総合評価落札方式評価項目"下請または県内企業下請の有無"で加点評価を受けた記載内容が	「履行されなかっ	

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

1/4ページ

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

考查項目	細 別	a	b	С	d	е
2. 施工状況	I.施工管理	□施工管理が優れている。	□ 施工管理が良好である。	□ 施工管理が適切である。	□ 施工管理がやや不適切である。	□ 施工管理が不適切である。
		●評価対象項目 □ 施工管理に関して、監督員からな 上記該当項目があれば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	е			
			書の照査結果を、適切に処理している 見場条件を反映した内容となっている 確保のための記載があり、管理のため 施工方法が、一致していることが確認 っれていることが確認できる。 の管理が適切であることが確認できる 適切に行われていることが確認でき を物等のリサイクルへの取り組みが、 出来形、品質等の管理を工事全般にわ 里基準により、日常的に管理されてい	ことが確認できる。 の方法が確認できる。 できる。 。 。 。 適切に行われていることが確認できる。 たって十分に行っていることが確認でき	ర ి.)
		評価値が90%以上 評価値が80%以上90%未満… 評価値が60%以上80%未満… 評価値が60%未満	b c	対象」欄にチェックボックスがある項目は、評価す 川除項目のある場合は削除後の評価項目数を母 評価値(%)=()評価数/()対象評価項 F価対象項目数が2以下の場合は、全てに該当し	数として比率(%)計算の値で評価する。 頁目数×100	でない場合は空白のままとする。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

2/4ページ

契 約 番 号: 0 工 事 名: 0

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

考查項目	細 別	a	a'	b	b '	С	d	е			
3. 出来形及び出 来ばえ	I. 出来形	□出来形が特に優れている。	□ 出来形が優れてい □ る。	□ 出来形が特に良好で □ ある。	□ 出来形が良好であ る。	□ 出来形が適切であ □ る。	□出来形がやや不備である。	□出来形が不備である。			
		●評価対象項目 □ 出来形が不適切であっ	ったため、工事請負契約書第	ため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査員が行った。							
		上記該当項目があれば	те								
		□出来形の管理に関して	て、監督員が文書で指示を行	行い改善された。							
		上記該当項目があればd									
		□ ①承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 □ ②施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 □ ③施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 □ ④出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 □ ⑤出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。 □ ⑤現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 □ □ ⑦現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 □ □ ③不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。									
		□ □ ⑨解体又は撤去工事の □ □ ⑩その他(理由:	り場合、撤去対象物の範囲等	幹が確認でき、適切に処分を	していることが確認できる。	,		,			
		口口 働ての他(姓用:				,		,			
		F1 (M) (M) (M)	······a %未満······a	O	にチェックボックスがある項目は、 のある場合は削除後の評価項目		クし、評価すべき項目でない場合/ 直で評価する。	ま空白のままとする。 			
			%未満······ b	0	%)=()評価数/()対象						
		10.00	%未満····································	O 11.1 III. 4.14	項目数が2以下の場合は、全てに	こ該当してもC評価とする。					
			%木裥····································								
				*したもの」であり、工事目	的物の形状、寸法、位置、着	数量並びに管理記録と設計図	図書を対比することにより評	価を行う。			

契 約 番 号 0 工 事 名:0

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。 ※主な工種を一つ選択して評価する。

考查項目	細 別	工種	a	a '	b	b '	С	d	е		
3. 出来形及び出 来ばえ	Ⅱ. 品質	建築工事	□ 品質が □ 特に優れている。	□ 品質が □ 優れている。	品質が □特に良好である。	□ 品質が □ 良好である。	品質が □適切である。	□ 品質が □ やや不適切である	□ 品質が □ 不適切である。		
			●評価対象項目 □ 出来形が不適切であ	った為、、検査員が修補指	- 発示を行った。						
			上記該当項目があれ	.ば e							
			□ 出来形が不適切であ	った為、、監督員が文書で	指示を行い改善された。						
			上記該当項目があればd								
			□ □ ①材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。□ □ ②施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が、適切であることが確認できる。								
			□ □ ③材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 □ □ ④品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。								
				の性能及び機能に関する確	認方法が適切であり、記録		していることが確認できる。				
			□□⑧内外仕上げ工事に	おける施工の品質が、施工	により確認でき、良好であ 三記録等により確認でき、良 これはで作工の日質が、作工	と好であることが確認できる	る。 良好であることが確認でき <i>。</i>	z			
			☑ □ ⑩不可視部分となる	品質が、工事写真、施工記	. ,		文灯 (<i>8)</i> (3 〜 (2 //) (1 //) (3 //)	ఎం			
			□□□②その他 (理由:		7m貝が、秘がして推絡でき	` ఎ.)		
			#1 III-III-1	0 %未満	0 / 3 / 3 / 3 / 3		は、評価すべき項目の場合にチ 頁目数を母数として比率(%)計算		い場合は空白のままとする。		
				0 %未満 0 %未満		%)=()評価数/() 象項目数が2以下の場合は、全					
			評価値が50%以上6	0 %未満	С	、京日 纵// 200 *// - // - // - // - // - // - // - /	CICIN TO COORT IME 7 500				
			評価値が50%未満…		d						
			※1. 目的物の品質の※2. 品質の対象は、行う。		したもの(システムを含む)」が	あり、工事目的物の品質及で	び品質管理に関する各種の記	2録と設計図書を対比すること	:により技術的な評価を		
l l											

契 約 番 号 0 工 事 名:0

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

A 4/4ページ

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。 ※主な工種を一つ選択して評価する。

考查項目	細 別	工種	а	b	С	d
3. 出来形及び出 来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	建築工事	□全体的な完成度が優れている。	□ 全体的な完成度が良好である。	□全体的な完成度が適切である。	□全体的な完成度が劣っている。
			●評価対象項目 □ 出来ばえが劣っている。 上記該当項目があれば ☑ □ ①きめ細かな施工がなされ、取り合いの□ ②関連工事(工種)又は既存部分との調整□ ③使い勝手や使用者の安全に対する配慮□ ④仕上がりの状態が適切で、作動状態も□ ⑤色調が均一であり、色むら等が無く、□ ⑥材料・製品の割付や通り等が良く、全□ □ ⑦保全や維持管理に配慮した施工がなさ□ ③その他 (理由: 評価値が90%以上 評価値が80%以上90%未満 評価値が80%よ満 評価値が80%よ満 ※1.全体的な仕上がり状態、機能を評価す※2.出来ばえの評価は、全体的な仕上がり	 納まりや端部まで仕上がりが良い。 がなされ、調和が良い仕上がりである。 に優れている。 良好である。 全体的な美観が良好である。 体的な出来ばえが良好である。 れている。 (①「対象」欄にチェックボック制除項目のある場合は (②評価値(%) = (評価値) (④評価対象項目数が2以 	ックスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェック 削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値 所数/対象評価項目数)×100 下の場合は、全てに該当してもc評価とする。 物としての機能などについて、観察、計測等により	で評価する。

契 約 番 号:0 工 事 名:0

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

E 3/4ページ

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。 ※主な工種を一つ選択して評価する。

考查項目	細 別	工種	a	a '	b	b '	С	d	е	
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	電気設備工事受変電設備工事	□品質が □特に優れている。	□品質が 優れている。	□ 品質が □ 特に良好である。	□ 品質が □ 良好である。	□ 品質が 適切である。	□ 品質が □ やや不適切である	□ 品質が □ 不適切である。	
			●評価対象項目 □ 品質が不適切であっ	たため、工事請負契約書第	31条に基づく修補指示を	を検査員が行った。				
			上記該当項目があれ	/ば・・・・・・・・・・e						
			□品質の管理に関して	、監督員が文書で指示を行	行い改善された。					
			上記該当項目があれ	.ば d						
			□ □ ①機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 □ □ ②施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 □ □ ③材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 □ □ ④品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 □ □ ⑤施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 □ □ ⑥施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 □ □ ⑥システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 □ □ ⑤システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 □ □ ⑤・マ可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 □ □ ⑩中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 □ □ ⑪運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 □ □ ⑩運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。							
			評価値が90%以上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
			※1. 目的物の品質の水準を評価すること。 ※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。							

契 約 番 号:0 工 事 名:0

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

E 4/4ページ

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。 ※主な工種を一つ選択して評価する。

ā	考査項目	細	別	工種	а	b	С	d
3.	出来形及び出 来ばえ	Ⅲ. 出	来ばえ	電気設備工事受変電設備工事	□ 全体的な完成度が優れている。	□ 全体的な完成度が良好である。	□全体的な完成度が適切である。	□ 全体的な完成度が劣っている。
					●評価対象項目 □ 出来ばえが劣っている。 上記該当項目があれば	がなされ、調和が良い仕上がりである。 正常であり、性能が優れている。 保するための配慮がなされている。 (①「対象」欄にチェックボ ②削除項目のある場合(③評価値(%)=(④評価対象項目数が21) シクスがある項目は、評価すべき項目の場合にチェック は削除後の評価項目数を母数として比率(%)計算の値)評価数/()対象評価項目数×100 以下の場合は、全てに該当してもC評価とする。	で評価する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

「記入方法」評価対象項目は左口にレマーク、評価項目は右口にレマークを記入する。 ※主な工種を一つ選択して評価する。

(給杏昌)

	下 川 刈 涿 快 口 1	<u>ад П (С Г /) .</u>	、計画項目は石口にレイ	ノで記入する。 水土な土		, o			(快旦貝)
考查項目	細別	工種	а	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び出 来ばえ	Ⅱ. 品質	暖冷房衛生設備 工事 機械設備工事	□品質が特に優れている。	□ 品質が □ 優れている。	□ 品質が □ 特に良好である。	□ 品質が □ 良好である。	□ 品質が □ 適切である。	□ 品質が □ やや不適切である	□ 品質が □ 不適切である。

契 約 番 号:0 工 事 名:0

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(営繕工事)

M 4/4ページ

[記入方法] 評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。 ※主な工種を一つ選択して評価する。

考查項目	細 別	工種	а	b	С	d
3. 出来形及び出 来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	暖冷房衛生設備 工事 機械設備工事	□全体的な完成度が優れている。	□ 全体的な完成度が良好である。	□ 全体的な完成度が適切である。	□全体的な完成度が劣っている。
				がなされ、調和が良い仕がりである。 正常であり、性能が優れている。 保するための配慮がなされている。 a b b ②削除項目のある場合は問 c		で評価する。